

# 公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター

## 1. 団体の概要(令和8年4月1日現在)

代表者(職・名)	理事長 高田光雄				
所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1 京都市景観・まちづくりセンター内				
電話番号	075-354-8701	設立年月日	平成9年10月1日		
ホームページアドレス	<a href="https://kyoto-machisen.jp">https://kyoto-machisen.jp</a>				
基本財産(又は資本金)(千円)	60,000	市出資・出捐金(千円)	60,000	市出資割合(%)	100.0
所管部局 (局・室・電話番号)	都市計画局まち再生・創造推進室 075-222-3503				
事業目的	歴史都市・京都の美しい景観と良好な環境づくりを目指した市民、行政、企業、大学等(以下「市民等」という。)の協働によるまちづくりを広く支援、誘導する諸活動を通じて、京都の都市としての品格を高めるとともに、住民主体のまちづくりの実現と都市活力の向上に寄与すること。				
業務内容	(1) 各種情報の収集、発信及び啓発 (2) 市民等の活動に対する総合的支援 (3) 各種の調査、研究 (4) 各種団体との交流及び協働活動 (5) 歴史的建造物の保全、再生、活用に関する各種の支援及び普及、啓発 (6) 公共人材育成に関する教育及び研修 (7) 景観整備機構に関わる業務 (8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (9) 前各号に掲げる事業に関する業務の他機関からの受託				

## (参考①) 役職員の年齢構成

(単位:人)

	役員		職員		平均年齢 (歳)
	常勤役員	非常勤役員	常勤職員※	非常勤職員	
10～20歳代	0	0	3	1	59
30歳代	0	0	1	0	
40歳代	0	2	3	0	
50歳代	0	5	6	0	
60歳代～	1	18	8	3	
合計	1	25	21	4	

※うち京都市からの派遣職員は3人

## (参考②) 積立金、不動産の概要

基金、積立金等(退職引当金は除く)		
主な基金、積立金名	想定される主な用途	期末残高
まちづくりファンド基金	寄附金として受け入れた資産であり運用益を公益目的事業の財源として使用	89 百万円
財団設立30周年記念事業資産	財団設立30周年記念事業に係る記念誌制作、記念式典、PRイベントの実施等の準備資金	1.5 百万円
土地、建築物の保有状況		
主な不動産の種類、場所	想定される主な用途	敷地・延床面積
—	—	— m <sup>2</sup>
—	—	— m <sup>2</sup>

(参考③)京都市の政策と団体活動の関連性

関連する本市の行政計画等とその方向性	
計画名	<p>新京都戦略(令和8年3月改定)</p> <p><a href="https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000339369.html">https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000339369.html</a></p>
概要	<p>令和9年度までに取り組む政策や、政策を推進するためのしごとの仕方改革、財政・組織体制の今後の方針を示すもの。</p>
計画における記載	<p>&lt;Vリーディング・プロジェクト&gt;</p> <p>1 ひらく</p> <p>④ 地域の魅力向上プロジェクト</p> <p>○ 京都の景観の現状について多角的に検証を行い、京都にふさわしい通り景観の創出など、地域の特性に応じたきめ細やかな景観形成のあり方を検討し、景観政策をさらに進化。</p> <p>3 つなぐ</p> <p>⑫ 京都固有の町並みを次世代に「つなぐ」プロジェクト</p> <p>○ 京都の歴史、文化、町並みの象徴であり、四季折々の自然や地域と共生する京都ならではの生活の文化を紡いできた京町家について、そこに息づく「暮らし」や「営み」と共に、京町家を今に活かし、次の世代につないでいくため、公民連携・市民協働による活用の推進など社会全体で保全・継承するための仕組みの強化や、相続税・固定資産税等の所有者の経済的負担の軽減に向けて国と連携し取り組むなど、より実効性の高い施策を構築し、展開。</p> <p>&lt;政策集&gt;</p> <p>1 京都のまちが紡ぐ文化の力を活かし「新たな魅力・価値を創造し続けるまち」</p> <p>(3) 京都の歴史、文化、町並みの象徴である京町家の保全・継承</p> <p>5 豊かな自然・歴史的景観と地域の魅力を活かした「自然環境と調和する持続可能なまち」</p> <p>(4) 持続可能な公共交通の維持、多様な主体との連携によるまちづくりの推進(⑪)</p>
上記計画に関連する団体の事業や取組	
	<p>1 各種情報の収集、発信及び啓発</p> <p>(1) 広報活動</p> <p>(2) 景観・まちづくり大学</p> <p>2 市民等の活動に対する総合的支援</p> <p>(1) 地域活動支援</p> <p>(2) 京町家保全・継承支援</p> <p>3 景観・まちづくりに関する調査研究 (新規)</p> <p>4 歴史的建造物の保全、再生、活用に関する各種の支援及び普及、啓発</p> <p>(1) 京町家まちづくりファンド事業運営及び普及啓発</p> <p>(2) 京町家カルテ・京町家プロフィール・京建物カルテ</p> <p>(3) 個別指定京町家カルテの作成(京都市受託事業)</p> <p>(4) 歴史的建造物管理業務(京都市受託事業)(新規)</p> <p>(5) 京町家の継承・流通推進事業(新規)</p> <p>5 公共人材育成に関する教育及び研修</p> <p>(1) インターンシップ受入</p> <p>(2) 視察受入</p> <p>(3) 講師派遣</p> <p>(4) 景観エリアマネジメント講座</p> <p>(5) 文化財マネージャー育成講座</p> <p>6 景観整備機構に係る業務</p> <p>(1) 景観重要建造物への指定推進</p> <p>(2) 歴史的建造物管理業務(京都市受託事業)(再掲)</p> <p>7 京都市景観・まちづくりセンター管理運営</p> <p>(1) 管理施設運営</p> <p>(2) 施設管理に伴う情報発信</p>

2. 財務面の概要

(単位:千円)

主要財務数値	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	予算	実績	予算	実績	予算	実績(※)	予算
1. 団体の概要(令和8年7月1日)	181,777	149,869	176,650	151,708	197,051		277,686
経常費用	181,777	143,921	176,650	144,981	197,051		277,686
当期経常増減額	0	5,948	0	6,727	0		0
当期正味財産増減額	0	△ 5,341	0	11,001	0		0
資産合計	-	276,242	-	294,328	-		-
負債合計	-	38,094	-	45,179	-		-
正味財産合計	-	238,148	-	249,149	-		-
累積損益額	-	178,148	-	189,149	-		-

(参考④) 財務指標

(単位:%)

			令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 決算	
自立性	市補助金割合	市補助金収入 ―― 経常収益	26.8	26.5	#DIV/0!	小さいほど 自立性が高い
安定性	自己資金率	正味財産合計 ―― 資産合計	86.2	84.7	#DIV/0!	大きいほど 安定性が高い
収益性	売上高経常利益率	経常収益－経常費用 ―― 経常収益	4.0	4.4	#DIV/0!	大きいほど 収益性が高い
	総資産経常利益率	経常収益－経常費用 ―― 資産合計	2.2	2.3	#DIV/0!	大きいほど 収益性が高い

(参考⑤) 京都市からの補助金等

(単位:千円)

		令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 決算(※)	令和8年度 予算
補助金	景観・まちづくり活動支援	14,144	14,394		36,264
	京町家ネットワーク推進	8,443	8,018		18,414
	京町家等継承ネット運営(京町家等利活用促進事業)	7,919	8,021		7,275
	京町家まちづくりファンド事業運営	9,692	9,765		24,338
	京町家相談員制度の運用業務(※令和8年度から補助事業化)	-	-		7,240
	京町家の公的サブリース推進事業	-	-		30,000
	小計	40,198	40,198	0	123,531
委託料	委託料景観・まちづくりセンター施設管理運営[指定管理(公募)]	46,200	46,200		46,200
	京町家の歴史的風致形成建造物等への指定に係る調査資料作成業務	3,160	4,100		-
	防災まちづくり専門家派遣業務	12,350	17,350		20,750
	京町家相談員制度の運用業務	5,319	5,367		補助事業に統合
	建築協定支援業務	5,668	5,414		補助事業に統合
	地域の景観づくり支援業務	3,180	4,350		補助事業に統合
	地域ごとのビジョンに応じた景観まちづくり等の支援業務	852	620		補助事業に統合
	個別指定京町家カルテ作成業務	205	205		25,000
	京町家状況調査	-	5,949		-
	遺贈京町家(吉田家・今村家)の維持管理	-	-		12,100
小計	76,934	89,555	0	104,050	

貸付金	—	—	—		—
	小計	0	0	0	0
その他	—	—	—		—
	小計	0	0	0	0

### 3. 目標及び実績

#### (1) 業務面

目標1 「京町家の保全継承支援」	
令和7年度の目標	<p>「京町家の保全及び継承に関する条例」に基づき、京町家所有者への支援制度の更なる普及啓発が必要となる。京都市・京町家相談員等と連携し、総合相談窓口として京町家所有者への相談体制の強化を図り、保全・継承を支援するための相談会等を実施するとともに、現在、審議中の京町家施策の総点検の結果等を踏まえて、団体としての更なる取組の展開を検討する。</p> <p>また、引き続き大型町家や空き家等の活用のため、市の企業誘致部門とも連携して、担い手となる入居者や事業者の開拓や所有者や活用希望者へのコンサルティングの充実などを行うマッチング機能について、支援に入る専門家の育成や意見交換の場を設けながら、その充実を図る。</p>
令和7年度 の取組結果 (※)	
令和8年度の目標	<p>「京都市京町家保全・継承推進計画（第2次）」に基づき、京町家の保全・再生・活用等の取組を一層充実・強化する必要があるとあり、京町家の総合相談窓口として、体制を充実のうえ、所有者・居住者の抱える様々な課題の解決に向けた具体的な提案や、条例や補助金等の制度の紹介、相談会の開催等の支援を行うほか、これまで関わりのなかった所有者等との接点を増やす取組等も実施する。</p> <p>また、京町家の公的指定の推進や、所有者等の保全意識の醸成に向けた、京町家の価値を明示する資料の作成のため、積極的な建物調査等を行う。</p> <p>さらに、民間の不動産市場では流通に至らない、空き家となっている京町家を掘り起こすための働き掛けを行い、社会的課題解決に資する活用につなげるため、適切なスキームの検討を行ったうえでサブリース事業等を実施する。</p>

指標	京町家の保全・継承支援件数						(単位：件)
目標と実績	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績 (※)	目標
	170	268	175	284	180		185

目標2 「地域の自主的なまちづくりの取組支援」	
令和7年度の目標	<p>地域のビジョンづくりや建築協定、防災まちづくり、景観まちづくりなど、地域の特性や魅力を活かした、地域の自主的なまちづくりの取組を支援する。</p> <p>また、まちづくり専門家の登録拡大に加えて、当財団が関わる講座等も活用しながら地域の次世代の担い手を発掘することにより、持続可能なまちづくりの体制づくりに寄与する。</p> <p>さらに、密集市街地の解消に向けて、具体的な路地において最新の規制誘導策を踏まえた路地整備計画の作成を支援するとともに、路地再生のための許認可制度の運用や連担建築物設計制度等について、路地を多く有する地域や権利者向けの勉強会等の支援を行う。</p>

令和7年度 の取組結果 (※)	
令和8年度 の目標	<p>地域のビジョンづくりや景観づくり、防災まちづくり、建築協定制度の活用など、地域の魅力向上や課題解決に向けた地域の自主的なまちづくり活動を支援するため、活動相談、活動助成、専門家派遣等を行う。</p> <p>特に、多くの地域がまちづくりの担い手不足の課題を抱える中、専門家の登録数を増やし、派遣制度を充実させるため、当財団が関わる講座等を通じて、多様な主体との連携や次世代の担い手の発掘を行うほか、京都市及び各区役所・支所における「地域コミュニティ Hub」とも連携を深め、地域主体の持続可能なまちづくりを目指す。</p>

指標	まちづくりに係る専門家登録数						(単位:件)
目標と実績	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績 (※)	目標
	37	36	38	41	38		40

(2) 財務面

目標 「自主財源の拡大」	
令和7年度 の目標	<p>年代層やターゲットを絞っての寄附金募集の呼びかけや賛助会員制度の魅力向上による会費収入増加の取組などに努める。</p> <p>また、歴史的建造物利活用事業の拡充や新たな収益事業の実施検討など、市補助金依存度の更なる縮減を目指す。</p>
令和7年度 の取組結果 (※)	
令和8年度 の目標	<p>賛助会費や寄付金等の収入増に向けて、財団の社会的価値の認知度向上を図るため、外部人材等の助力も得て当財団のリブランディングを行い、広報戦略を策定し、ホームページやSNS等の発信基盤の改善に取り組む。</p> <p>特に、賛助会員制度については、加入メリットの検討や加入プランの見直し等を行い、市民や企業への情報発信を強化する。</p> <p>また、歴史的建造物利活用事業にも引き続き取り組みつつ、新たな利活用の対象等についても検討する。</p>

指標	収入に占める京都市補助金の割合						(単位:%)
目標と実績	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績 (※)	目標
	28.0%	26.8%	26.0%	26.5	26.0%		

指標	賛助会費収入						(単位：千円)
	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
目標と実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績 (※)	目標
		1,785		1,815			3,000

(3) 組織面

目標 「職務遂行能力の向上」	
令和7年度の目標	<p>多様な案件に従事させることで知見を深めるなどによりコーディネート能力を向上させ、中核となり得る職員の育成に取り組む。</p> <p>引き続き、コーディネーターの業務関連資格の取得奨励制度や資格取得による業務手当の支給など処遇改善等を行う。</p> <p>財団の組織・人員体制については、人材の確保の点で課題があることから、京都市からの職員派遣を引き上げることは困難であり、第6次中期経営計画においても現状人員の派遣継続を方針としている。財団の収支向上に関する取組と併せて、総合的な視点で慎重に検討していく。</p>
令和7年度 の取組結果 (※)	
令和8年度の目標	<p>市民等からの相談や喫緊の課題に的確に対応し、当財団が提供する価値をさらに高めるため、職員の資質能力の向上を図る。</p> <p>財団内での業務研修、新規採用研修及びOJT等を実施するほか、職員に業務関連資格の取得を奨励し、取得資格により業務手当を支給する。</p> <p>また、有能な人材の確保・定着のため、業務経験の蓄積も含めた計画的かつ実効性の高い人材育成プログラムを整備し、待遇改善を行う。</p>

指標	業務関連資格の取得件数						(単位：件)
	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
目標と実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績 (※)	目標
	2	2	2	3	2		2

4. 令和7年度の経営評価（令和6年度の経営状況に対する評価）

(1) 所管局による評価

財務面	<p>令和6年度決算について収支差額が6,727千円となり、黒字となった。京都市からの委託事業費や職員数の増等により人件費が増加した一方で、京都市からの委託料収入や歴史的建造物活用事業収入が増加したことによるものとする。</p> <p>(公財)京都市景観・まちづくりセンターは京都市の補助金を活用し、景観の保全・形成に資する事業及び地域の良い生活環境を確保するためのまちづくり活動支援事業を実施しており、京町家の保全・継承及び地域のまちづくり活動の推進に大きく寄与していると評価している。</p> <p>今後も、一層の独自財源の拡大に尽力することを期待する。</p>
-----	---

事業面	センターの強みである人的ネットワークを生かし、新たな雇用形態の導入など人材面への挺入れを行いつつ、歴史的建造物利活用事業をはじめ、調査研究機能の強化や先導的な取組など独自事業の展開を進めるなど、財源確保にもつながる取組の強化に期待する。
-----	--

(2) 外郭団体総合調整会議による評価

<p>京都市域の景観政策を推進するため、地域の自主的なまちづくり活動を支援し、景観保全や地域活性化につなげることが重要。</p> <p>業務面に掲げるまちづくりに係る専門家登録者数や京町家の保全・継承支援件数は目標を上回る実績を上げており評価できる。</p> <p>引き続き、団体職員のコーディネート能力の向上やまちづくり専門家の登録拡大など、次世代に渡って持続可能なまちづくりを支援できるような体制づくりに努めていただきたい。</p>
--